

DI 値・・・良い（多い）、変わらない（普通）、悪い（少ない）の回答のそれぞれが全体に占める構成比を求めます。次に、良い（多い）等の構成比（％）－悪い（少ない）等の構成比（％）を計算した結果です。プラス値が大きいほど景況感が良く（好況）、マイナス値が大きいほど景況感が悪い（不況）と言えます。

特に決まりはありませんが、このレポートは次の基準で記載しました。（マイナスは△表示）

○良い：15P以上  ○やや良い：6P～14P 
 ○変わらない（普通）：△5P～5P 
 ○やや悪い：△6P～△14P  ○悪い：△15P以下 

業種別 調査結果と事業者の声

*DI 値調査結果は裏面に記載

*【 】は今期の DI 値を記載

(1) 製造業 景況感 【3P】（前期比△23P）〈変わらない〉

景況感の悪化とともに売上額は8P悪化し【2P】になりました。一方で、収益【8P】は8P改善しています。雇用人員【△41P】は、依然として人手不足が続いています。

次期に向けて、景況感の改善とともに、売上額の改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・今後1年間の受注は好調を見込めるが、その先は不透明なので、新規受注を開拓した。
- ・2018年度後期には、発注企業との共同受注の案件があり、先行きは明るい。
- ・同業他社との競合等で価格を下げざるを得ないことが、収益悪化の原因である。
- ・前期は外注費比率が悪化した影響で売上総利益率は減少したが、今期は採算管理を徹底することで利益拡大を図る。
- ・近隣のリフォーム業者から受注は増えているが新築物件に対する売上は減少を続けている。

(2) 建設業 景況感 【26P】（前期比+21P）〈良い〉

売上額【21P】、収益【13P】は、それぞれ19P、11P改善しています。しかし、雇用人員は5P悪化し、【△39P】と人手不足が続いています。

次期に向けても改善が見込まれていない状況です。

☆事業者の主な声☆

- ・大手より2割以上安価で建築しており、受注は安定している。
- ・主要取引先から受注はあるが、人手不足で断っている状況である。人員を確保できれば売上増加が期待できる。
- ・マンションの大規模修繕工事が多く工期も長いため、人員を多く必要とし、人員確保が困難になりつつある。来年から外国人労働者の手配も考えている。
- ・全体的に建設工事量は増加しているが、従業員不足で受注工事量をこなせない。
- ・若手の建築士を育てるには10年ほどかかるが、受注が少なくて中小企業で育てるのは難しい。
- ・人件費及び材料費の高騰は否めず、今後更なる採算を勘案した受注が課題となる。

(3) 卸・小売業 景況感 【2P】(前期比+28P) <変わらない>



今期は、売上額【14P】と収益【△2P】がそれぞれ36P、30Pと大きく改善しました。しかし、雇用人員は、依然として【△24P】と、人手不足が続いています。

次期は、今期改善が見られた売上額、収益ともに悪化が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・個人客の売上が伸び悩んでおり、客1人当たりの単価の減少が顕著である。
- ・大手自動車メーカーでの不正発覚により新車販売台数が減少し、その影響で中古自動車の市場流通数が減少、仕入れ価格の高騰となっている。
- ・宅配便の運賃値上げによって、物販業が影響を受けるとされる。
- ・消費者は商品性よりも価格面で動く傾向が更に強くなっている。
- ・売上アップを望めない状況下でも売上利益を少しでも確保すべく、在庫管理・仕入れ管理を徹底したい。

(4) 不動産業 景況感 【14P】(前期比+7P) <やや良い>



売上額【27P】、資金繰り【6P】は、それぞれ13P、35Pと大きく改善しています。一方で雇用人員【△13P】は、6P悪化してしまいました。

次期は、全項目で改善が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・小規模な自社プロジェクトを数多く行うことで増収・増益を見込んでいる。
- ・不動産管理・仲介を主業としているが、不動産販売も手掛け大幅な売上増となる。今後も効率よく販売を続け、年間数戸を手掛けていく方針。
- ・商品仕入が思うように進まず、物件の高騰が目立つ。
- ・横須賀市内を中心に在庫確保に奔走しているが、良好な物件が見つからない。

(5) サービス業 景況感 【12P】(前期比+14P) <やや良い>



全ての項目で改善が見られ、なかでも売上額【20P】は、25Pの改善となりました。

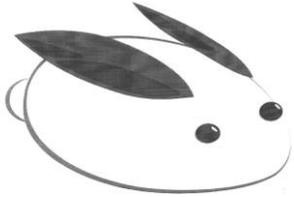
次期は、売上額、収益、雇用人員で悪化が見込まれています。

☆事業者の主な声☆

- ・当社は業歴が長く、安定した顧客基盤を持っている。新しい技術を取り入れながら、現状維持と新規顧客獲得を引き続き図る。
- ・ホームページを見た宿泊客も多少増加傾向となっている。今後もホームページの更新、市の観光課等への取り組みに力を入れ、売上増加を図っていく。
- ・固定客は安定しているものの新規顧客獲得に苦戦している。採算性の低い店舗の営業権を売却し、新店舗を異なるエリアに開店することも視野に入れた営業展開を検討していく。
- ・引き続き、人員確保及び稼働率アップを課題とし、解決に取り組んでいく。

DI 値 調査結果

前・・・前期 平成29年7～9月の景況感（調査時点 平成29年9月1日）
 今・・・今期 平成29年10～12月の景況感（調査時点 平成29年12月1日）
 次・・・次期 平成30年1～3月の景況感（ ” ” ）



業種別調査企業数(回答数)

(単位：社)

	全業種	製造業	建設業	卸・小売業	不動産業	サービス業
前期	185	38	44	50	14	39
今期	178	37	38	47	15	41
次期	175	36	38	47	13	41

(単位：ポイント)

項目	業種	全業種			製造業			建設業			卸・小売業			不動産業			サービス業		
		前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次	前	今	次
景況		景況全般について総合的な概況をお聞きました。																	
	良い(A)	23	30	29	39	27	42	30	37	39	10	30	17	14	27	38	21	27	17
	変わらず	53	51	54	48	49	41	45	52	48	54	42	55	79	60	54	56	58	71
	悪い(B)	24	19	17	13	24	17	25	11	13	36	28	28	7	13	8	23	15	12
	DI値(A)-(B)	△1	11	12	26	3	25	5	26	26	△26	2	△11	7	14	30	△2	12	5
	今-前、次-今	12		1	△23		22	21		0	28		△13	7		16	14		△7
売上額		製造業については、生産品を出荷した額をお聞きました。																	
	好転(A)	25	35	31	34	32	39	27	34	39	18	40	23	21	27	38	23	37	22
	変わらず	47	45	50	42	38	44	48	53	40	42	34	54	72	73	62	49	46	58
	悪化(B)	28	20	19	24	30	17	25	13	21	40	26	23	7	0	0	28	17	20
	DI値(A)-(B)	△3	15	12	10	2	22	2	21	18	△22	14	0	14	27	38	△5	20	2
	今-前、次-今	18		△3	△8		20	19		△3	36		△14	13		11	25		△18
収益		売上から経費を引いた収益状況をお聞きました。																	
	増加(A)	18	29	25	29	35	31	25	26	34	4	26	17	14	20	31	21	32	20
	変わらず	56	49	54	42	38	44	52	61	48	60	46	57	79	73	69	58	44	60
	減少(B)	26	22	21	29	27	25	23	13	18	36	28	26	7	7	0	21	24	20
	DI値(A)-(B)	△8	7	4	0	8	6	2	13	16	△32	△2	△9	7	13	31	0	8	0
	今-前、次-今	15		△3	8		△2	11		3	30		△7	6		18	8		△8
雇用人員		需要に対応できる労働状況をお聞きました。																	
	多い(A)	4	3	3	3	5	3	2	3	3	4	2	2	7	0	0	5	5	5
	適正	61	63	62	52	49	53	62	55	55	70	72	72	79	87	85	51	61	56
	少ない(B)	35	34	35	45	46	44	36	42	42	26	26	26	14	13	15	44	34	39
	DI値(A)-(B)	△31	△31	△32	△42	△41	△41	△34	△39	△39	△22	△24	△24	△7	△13	△15	△39	△29	△34
	今-前、次-今	0		△1	1		0	△5		0	△2		0	△6		△2	10		△5
資金繰り		資金繰りが上手く行っているかを判断するためお聞きました。																	
	楽である(A)	11	16	13	16	24	17	11	16	16	12	17	11	0	13	8	8	10	10
	さほど苦しくない	65	63	69	63	49	66	71	68	68	60	53	57	71	80	92	66	73	78
	苦しい(B)	24	21	18	21	27	17	18	16	16	28	30	32	29	7	0	26	17	12
	DI値(A)-(B)	△13	△5	△5	△5	△3	0	△7	0	0	△16	△13	△21	△29	6	8	△18	△7	△2
	今-前、次-今	8		0	2		3	7		0	3		△8	35		2	11		5

〈参考〉昨年同期と現在の売上比較(回答148社)

	企業数	今期構成比	(参考) 前期構成比
昨年と比べ「売上額」が増加(A)	53社	36%	30%
昨年と比べ「売上額」が変わらない、横ばい	52社	35%	34%
昨年と比べ「売上額」が減少(B)	43社	29%	36%
DI値(A)-(B)		7P	△6P

